

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 10の姿から「学び」を年齢別に可視化する。ドキュメンテーションを作成する。	◎	ドキュメンテーションを作成してアプリで保護者に伝えることができた。
		(2) 園児の園生活全体を捉え全体的な計画・指導計画を作成する。	○	
		(3) 保育カウンセラーの訪問及びケース検討会を行う。子育てファイルふくいっ子や育ちの支援計画シート等を活用する。	◎	
		(4) 園の特性を生かした食育の推進。食育計画の作成と実施。	◎	野菜の皮むきや畑づくりを通して食への興味関心が持てるようになった。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 園内研修の充実と園外研修の実施（キャリアアップ研修等）	◎	キャリアアップ研修に積極的に参加できた。
		(6) ICTの技術活用等を通じて質の向上を図る。施設内外の研修体制の確立と体制づくり。	○	連絡帳などをICT化した。
		(7) 職員の自己評価を行い保育の質の向上を図る。	◎	
Ⅱ 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談、クラス懇談及び保育参観の実施。アプリや送迎時の対話等で保護者への育児に対する助言をする。	◎	各年齢ごとに参観・懇談ができた。家庭での様子も聞くことが出来、保護者への助言もできた。
		(9) 食事だより・保健だよりを配信する。感染症の発生状況及び対応に関する情報を提供する。	◎	
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放日等の情報を提供する。子育てマイスターを活用する。育児相談の実施。	◎	
		(11) 一時預かりの受け入れを実施。福井市のすみずみ子育てサポート事業のパンフレットの配布。	○	
		(12) 保育の相談及び援助の知識及び技術向上のための研修に参加する。	○	
③多様な連携と共同を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健診や幼児相談会を通してこども家庭センターとの連携を図る。気がかりな子に対しては各関係機関との連携を図る。	◎	
		(14) 子育て支援に関する連絡協議会等へ参加して情報共有する。	×	
		(15) 就学先の小学校や転園先へ要録等の送付。福井県幼児教育センター主催の接続講座・研修への参加。	◎	
		(16) 災害発生時の公的施設としての機能を整備する。	◎	備品を新たに購入した。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 子どもについての相互理解を図るため関連機関（公民館・児童館）と連携を図り協働していく。	○	
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 小学生、中学生などの教育・保育体験の受け入れをする。	○	中学生の職場体験を受け入れることができた。
		(19) 地域の行事に参加する。	○	
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 子育て支援「おひさま広場」の開催をお知らせして参加していただけるように声をかける。	◎	毎回多数の参加希望があった。
		(21) ICT等の活用による子育て支援を行う。	○	
Ⅴ安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) こども園の社会的責任のあり方についての研修に参加する。個人情報保護法を遵守する。	○	
		(23) これからの乳幼児の教育・保育制度について研究大会等で意見を提示する。	×	
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) 「福井市の認定こども園における質の向上のためのアクションプログラム」を実施する。	○	

《園での取り組み》 24 のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。